

従業員 300 名以上の企業に勤務する全国の 1,063 名を対象にしたアンケート調査
企業のメールのセキュリティ対策の導入率
「フィッシング対策」、「なりすまし対策」が 5 割前後と一般化が進む
8 割以上の企業が年度内にセキュリティ対策の導入・強化を予定

法人向け電子メールのセキュリティ対策・コンプライアンス対策の専門企業、サイバーソリューションズ株式会社（東京都港区、代表取締役会長兼社長 林 界宏）は、2023年1月6日から2023年1月10日まで、全国の従業員 300 名以上の企業に勤務する合計 1,063 名を対象に、「企業のメールセキュリティへの取り組みに関するアンケート調査」を行いました。その結果、およそ 1 割の人に「スパム」「なりすまし」「不審な添付ファイル付き」メールが週 1 回以上届いており、1 割弱の人が「フィッシングメール」や「なりすましメール」のトラブルを経験していることが分かりました。企業によるメールのセキュリティ対策の導入率は、「アンチウイルス・アンチスパム」87%、「フィッシング対策」は 58.5%、「なりすまし対策」は 38.8%と、サイバー脅威対策の一般化が進んでいることが分かりました。また、約 8 割の企業が年度内にメールセキュリティ対策の導入・強化を予定している一方で、現在未導入の企業では予定なしの割合が高く、二極化の傾向が見られます。

【注目ポイント】

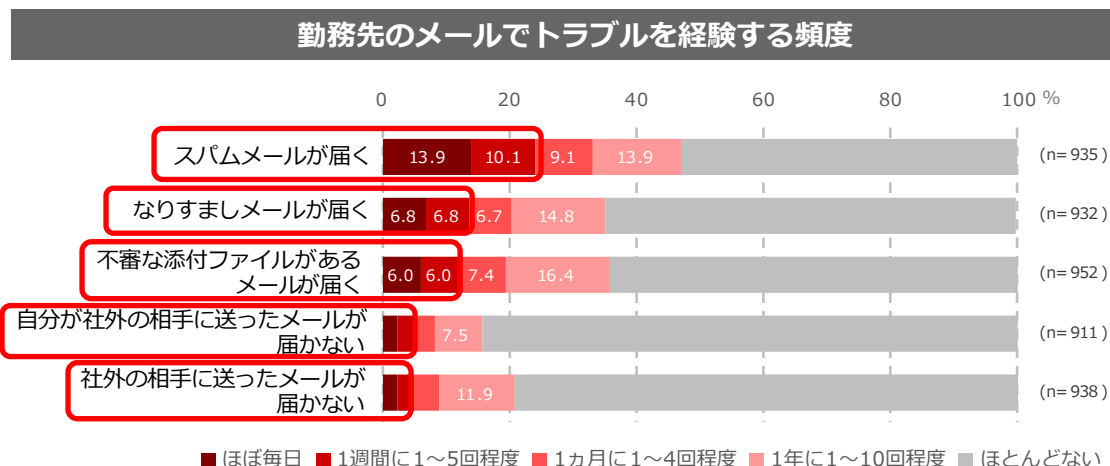
- Topic1. およそ 1 割の人に「スパム」「なりすまし」「不審な添付ファイル付き」メールが週 1 回以上届く
- Topic2. 過去 3 年間に勤務先などで経験したメールのトラブルは、フィッシングメール被害 8.5%、なりすましメールの悪用は 7.3%
- Topic3. 企業のメールのセキュリティ対策導入率、「アンチウイルス・アンチスパム」87%、フィッシング対策 58.5%、なりすまし対策 38.8%
- Topic4. 今年度中に企業が導入・強化予定の対策、フィッシング対策 37.2%、なりすまし対策 31.3%
- Topic5. アンチウイルス・アンチスパム導入企業は 36.0%が今年度中の対策強化を予定する一方、未導入の企業は今年度中の導入予定は 15.3%と、メールのセキュリティ対策に二極化の傾向

(参考)調査レポート「企業のメールセキュリティ」<https://m.cybersolutions.co.jp/3oqC65Z>

●調査結果

Topic1. およそ 1 割の人に「スパム」「なりすまし」「不審な添付ファイル付き」メールが週 1 回以上届く

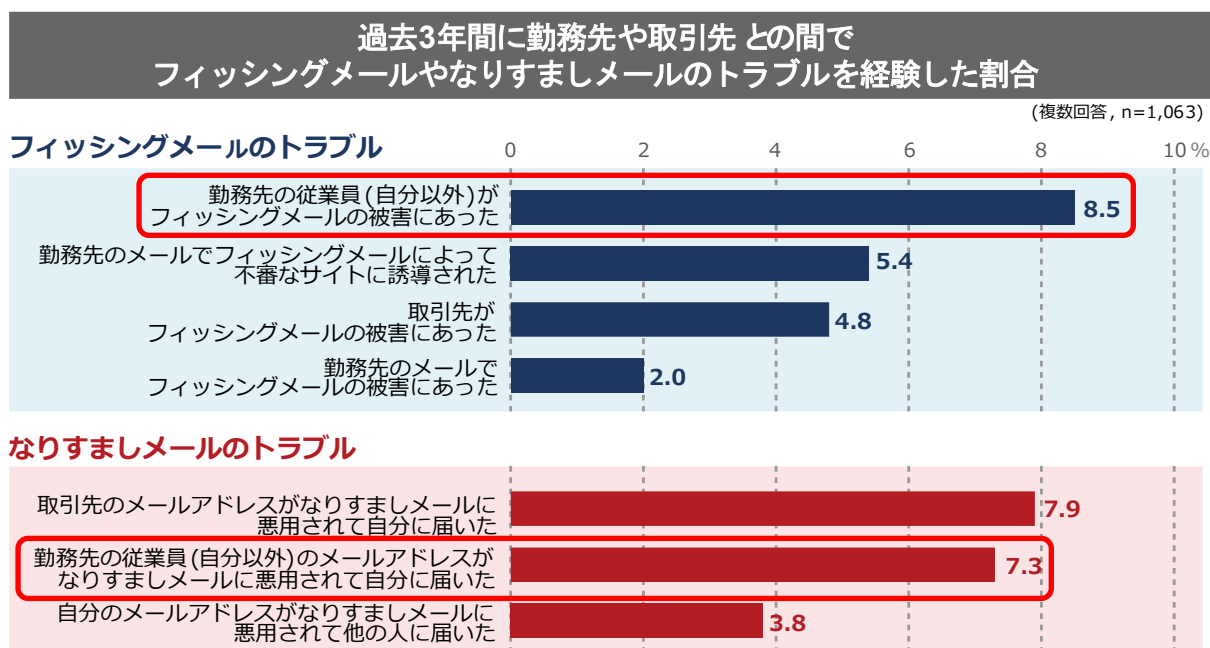
Q. あなたは、勤務先のメールを使う際に、次のようなことが、どの程度の頻度でありますか。(それぞれ単一回答)



勤務先のメールで1週間に1回以上経験するトラブルでは、「スパムメールが届く」は24.0%。「なりすましメールが届く」は13.6%、「不審な添付ファイル付きメールが届く」は12.0%、「自分が社外の相手に送ったメールが届かない」は4.9%、「社外の相手が送ったメールが届かない」は5.0%。およそ1割の人に「スパム」「なりすまし」「不審な添付ファイル付き」メールが週1回以上届いていることが分かりました。

Topic2. 過去3年間に勤務先などで経験したメールのトラブルは、フィッシングメール被害8.5%、なりすましメールの悪用は7.3%

Q. あなたは、勤務先のメールやPCを利用する際に、ご自身が過去3年以内に次のことを経験したことがありますか。経験があることをすべて選んでください。(複数回答)



フィッシングメールについては、「勤務先のメールでフィッシングメールによって不審なサイトに誘導された」5.4%、「勤務先のメールでフィッシングメールの被害にあった」2.0%。「勤務先の従業員(自分以外)が」フィッシングメールの被害にあった」8.5%。「取引先がフィッシングメールの被害にあった」4.8%。

なりすましメールについては、「自分のメールアドレスがなりすましメールに悪用されて他の人に届いた」3.8%。「勤務先のメールアドレスがなりすましメールに悪用されて自分に届いた」7.3%。「取引先のメールアドレスがなりすましメールに悪用されて自分に届いた」7.9%。

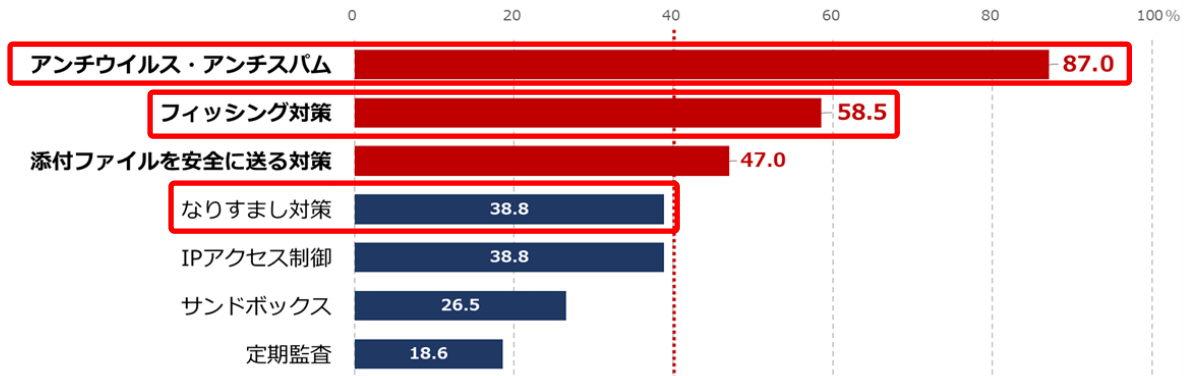
Topic3. 企業のメールのセキュリティ対策導入率、「アンチウイルス・アンチスパム」87%、フィッシング対策58.5%、なりすまし対策38.8%

Q. あなたの勤務先では、メールシステムのセキュリティに関して、すでに導入している対策はどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)【対象: システム担当者のみ】

導入割合が高い順に、「アンチウイルス・アンチスパム」87%、「フィッシング対策」58.5%、「添付ファイルを安全に送る対策」47.0%、「なりすまし対策」38.8%、「IP アクセス制御」38.8%。「アンチウイルス・アンチスパム」を利用する企業は約9割で標準となり、次に重要な対策として「フィッシング対策」や「なりすまし対策」の導入が進んでいることが分かりました。

勤務先で導入しているメールのセキュリティ対策

(システム担当者のみ、複数回答、n=453)



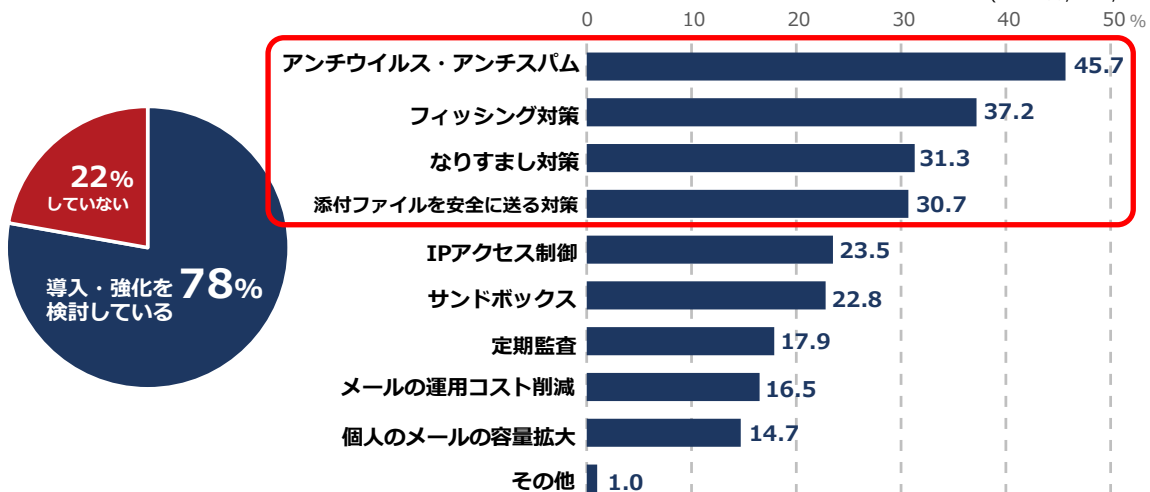
Topic4. 約8割の企業が今年度中にセキュリティ対策の導入、強化を予定。

Q. あなたの勤務先では、メールシステムのセキュリティや運用に関して、2024年3月までを目途に、どのような対策の導入や改善を検討していますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)【対象：システム担当者のみ】

2024年3月までに約8割の企業がセキュリティ対策の導入、改善を予定しています。導入や改善を予定している対策は、多い順に「アンチウイルス・アンチスパム」45.7%、「フィッシング対策」37.2%、「なりすまし対策」31.3%、「添付ファイルを安全に送る対策」30.7%でした。

勤務先で2024年3月までに導入や改善を予定しているメールのセキュリティ対策

(複数回答、n=1,063)



Topic5. アンチウイルス・アンチスパム導入企業は36.0%が今年度も対策強化を予定する一方、

未導入の企業は今年度も導入予定は15.3%と、メールのセキュリティ対策に二極化の傾向

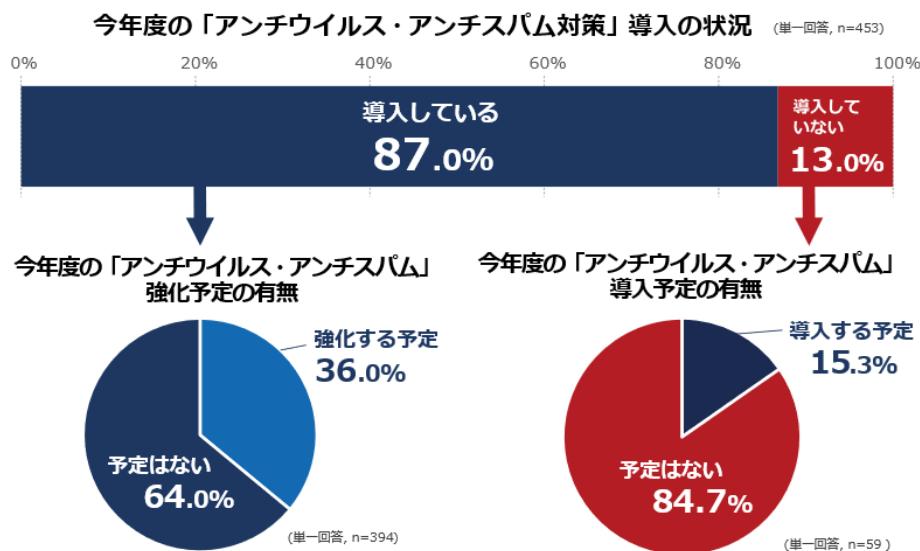
Q. あなたの勤務先では、メールシステムのセキュリティに関して、すでに導入している対策はどれですか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)【対象：システム担当者のみ】

Q. あなたの勤務先では、メールシステムのセキュリティや運用に関して、2024年3月までを目途に、どのような対策の導入や改善を検討していますか。あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)【対象：システム担当者のみ】

すでにアンチウイルス・アンチスパムを導入している企業が、今年度中にアンチウイルス・アンチスパムの強化を予定している割合は36.0%。それに対して、アンチウイルス・アンチスパムを導入していない企業が、今年度中

にアンチウイルス・アンチスパムの導入を予定している割合は 15.3%。この結果から、メールのセキュリティ対策に取り組んでいる企業は、さらに対策を強化しようとする割合が高い一方、現在、メールのセキュリティ導入をしていない企業は、対策導入の動きが鈍く、二極化している傾向が見られました。

今年度の「アンチウイルス・アンチスパム」対策導入状況と予定



■ 調査結果について (本調査を主催したサイバーソリューションズのコメント)

独立行政法人情報処理推進機構が発表した「情報セキュリティ 10 大脅威 2023」によると、組織の脅威の 1 位は「ランサムウェアによる被害」、3 位は「(なりすましなど) 標的型攻撃による機密情報の窃取」でした。これらの脅威の最大の経路となっているのが電子メールです。

本調査の Topic1,2 から、「不審な添付ファイル付きメール」、「フィッシングメール」、「なりすましメール」は日常的に届いており、それらによるトラブルが生じていることも確認できました。

これらの脅威に対する企業の備えとしては、Topic3 から、「アンチウイルス・アンチスパム」が 87%と、もはや標準対策となっていること、「フィッシング対策」は 58.5%、「なりすまし対策」は 38.8%と、さらにサイバー脅威対策の一般化が進んでいることが分かりました。

Topic5 から、約 8 割の企業が年度内にメールセキュリティ対策の導入、強化を予定し、多くの企業がメールセキュリティ対策を重要課題として継続的に取り組んでいる様子が分かりました。

一方で、企業のメールセキュリティ対策には二極化の傾向も見られました。すでにアンチウイルス・アンチスパム対策を導入している企業は、さらに今後も対策を強化する割合が高い一方で、現時点で未導入の企業は、今後の対策導入の動きも鈍い状態にあり、メールセキュリティについての知識・予算・工数など課題があることが推測されます。

今後は、より多くの企業が「フィッシング対策」や「なりすまし対策」を導入し、ランサムウェアや(なりすましなど) 標的型攻撃の脅威を回避することが期待されます。またメールセキュリティ企業として、対策への取り組みが進んでいない企業へ、よりいっそうの支援・課題解決の提案を進めていきます。

サイバーソリューションズが提供するクラウドの電子メールシステム「CYBERMAIL Σ (サイバーメール シグマ)」や、Microsoft 365 や Google Workspace ユーザーのセキュリティ対策を強化する「Cloud Mail SECURITYSUITE (クラウドメール セキュリティスイート)」は、次のようなフィッシングメール対策、なりすましメール対策機能を備えています。

- ・フィッシング対策：メール本文内 URL フィルタリング
- ・なりすまし対策：SPF DKIM DMARC 設定

■【調査レポート：企業のメールセキュリティ】

本調査のより詳細なレポートは、下記ページからダウンロードすることができます。企業のメールセキュリティを強化するための情報収集としてぜひご活用ください。

<https://m.cybersolutions.co.jp/3oqC65Z>

その他調査レポート、座談会レポート

■【脱 PPAP 問題の実態調査レポート】

「脱 PPAP」は約 7 割と過渡期、企業規模が大きい企業ほど PPAP 利用率が高く、リスクが懸念される…等の添付ファイルの送受信・PPAP に関する調査結果を公開しています。詳細なレポートは下記ページからダウンロードいただけます。

<https://m.cybersolutions.co.jp/3LiDhxB>

■【『業種別』企業のメールセキュリティ意識の実態調査レポート】

サイバー攻撃への不安が高まっている業種は「医療・福祉」「金融・保険」「卸売・小売」…等のサイバー攻撃の状況に関する調査結果を公開しています。詳細なレポートは下記ページからダウンロードいただけます。

<https://m.cybersolutions.co.jp/3KnPgrw>

■「PPAP 問題への対応とメールセキュリティの現実解 座談会レポート」

サイバーソリューションズ株式会社営業本部マーケティング部部長 國分隆博と、PPAP の名づけ親である合同会社 PPAP 総研の代表社員 大泰司章氏、企業のセキュリティインシデント対応行ってきた Internet Secure Services 株式会社最高責任者の徳田敏文氏の3名で「PPAP」をテーマに対談をしたレポートです。

下記ページからご覧いただけます。

<https://m.cybersolutions.co.jp/41uw5np>

■会社概要

会社名 : サイバーソリューションズ株式会社(英文表記: CyberSolutions Inc.)
代表者 : 代表取締役会長兼社長 林 界宏
設立 : 2000年1月 資本金: 100,000,000円
本社 : 〒108-0073 東京都港区三田 3-13-16 三田 43MTビル 14F
TEL : 03-6809-5858 / FAX: 03-6809-5860
事業内容 : クラウドサービスやソフトウェアパッケージの企画／開発／販売／サポート
メッセージングシステム全般に関するコンサルティング
ASP・SaaS 事業向けクラウドシステムの提供及び構築支援
初期コンサルティング、導入支援、カスタマイズ、バージョンアップ支援等 など
URL : <https://www.cybersolutions.co.jp/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

サイバーソリューションズ株式会社 広報デスク(株式会社 MOPS 内) 担当: 立林・八代
TEL: 03-6452-9191 E-mail: tatebayashi@mops-pr.net 携帯: 070-4424-4891(立林)